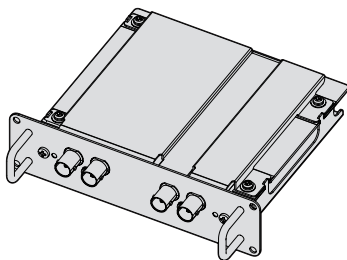


取扱説明書

12G-SDI 信号ボード **業務用**

品番 **ET-MDN12G10**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご紹介します。

- この「取扱説明書」とプロジェクターの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に“安全上のご注意”（👉 3～4 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

4K
PROFESSIONAL

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意	3
ご使用になる前に	5
対応プロジェクター	5
製品の取り扱いについて	5
廃棄について	5
付属品の確認	5
各部の名称とはたらき	6
インターフェースボードの取り付けについて	6
インターフェースボードの取り付け、取り外し時の前に	6
インターフェースボードの取り付けかた	7
インターフェースボードの取り外しかた	8
仕様	9
保証とアフターサービス	11
保証書（別添付）	11
補修用性能部品の保有期間	11
修理のご依頼について	11

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	■ 水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 本製品の近くに水などの液体の入った容器を置かないでください。 ⇒ 水などの液体がかかったときは、販売店にご相談ください。
	■ 付属のねじは、乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
 分解禁止	■ 分解や改造をしない (感電や火災の原因になります。また、故障の原因になります。)



注意



■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

(火災や感電の原因になることがあります。)

■ 異常に温度が高くなる所に置かない

(部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)

⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。



電源プラグ
を抜く

■ プロジェクター本体への本製品の取り付けや取り外しの際は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜く

(感電の原因になることがあります。)

ご使用になる前に

本製品は、当社製プロジェクターに取り付けて使用する、12G-SDI 信号対応のインターフェースボードです。

対応プロジェクター

PT-RQ32KJ、PT-RQ13KJ
(2017 年 12 月時点)

お知らせ

- 上記以外の製品についても対応している場合があります。ご使用のプロジェクターの取扱説明書をご確認ください。
- PT-RQ32KJ および PT-RQ13KJ のファームウェアのメインバージョンが 3.00 未満の場合は、本インターフェースボードを使用できません。最新のファームウェアにアップデートしたうえでご使用ください。アップデート手順については、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/pass/>) のファームウェアに関する最新情報掲載先にアクセスしてご確認ください。

製品の取り扱いについて

■ インターフェースボードのコネクター部分には、直接手を触れないでください

静電気によって部品が破壊されることがあります。事前に周辺の金属に触れるなど身体の帯電を除去したうえで、本製品を取り扱ってください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。＜ ＞は個数です。

ねじ <4>

(XSB3+8FN)



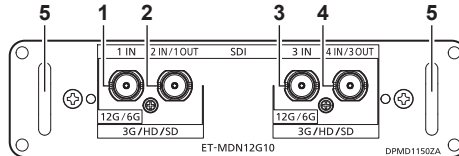
お願い

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

お知らせ

- 付属のねじは予備品です。プロジェクター本体のスロットカバーを固定するねじを紛失した際にご使用ください。
- 付属品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

各部の名称とはたらき



1 〈SDI 1 IN〉 端子

SDI 信号 (SD-SDI / HD-SDI / 3G-SDI / 6G-SDI / 12G-SDI) を入力する端子です。

2 〈SDI 2 IN/1 OUT〉 端子

SDI 信号 (SD-SDI / HD-SDI / 3G-SDI) を入力する端子です。また、〈SDI 1 IN〉 端子に入力された SDI 信号 (SD-SDI / HD-SDI / 3G-SDI / 6G-SDI / 12G-SDI) を出力するアクティブスルー端子です。

3 〈SDI 3 IN〉 端子

SDI 信号 (SD-SDI / HD-SDI / 3G-SDI / 6G-SDI / 12G-SDI) を入力する端子です。

4 〈SDI 4 IN/3 OUT〉 端子

SDI 信号 (SD-SDI / HD-SDI / 3G-SDI) を入力する端子です。また、〈SDI 3 IN〉 端子に入力された SDI 信号 (SD-SDI / HD-SDI / 3G-SDI / 6G-SDI / 12G-SDI) を出力するアクティブスルー端子です。

5 取っ手

お知らせ

- 〈SDI 2 IN/1 OUT〉 端子と 〈SDI 4 IN/3 OUT〉 端子は、6G-SDI 信号、12G-SDI 信号の入力には対応していません。
- 〈SDI 2 IN/1 OUT〉 端子と 〈SDI 4 IN/3 OUT〉 端子を出力端子として使用する場合は、プロジェクター本体の設定を変更する必要があります。ご使用のプロジェクターの取扱説明書をご確認ください。

インターフェイスボードの取り付けについて

プロジェクター本体へのインターフェイスボードの取り付けや取り外しは、専門の技術者に依頼することをお勧めします。静電気などにより故障が発生することがあります。販売店にご相談ください。

インターフェイスボードの取り付け、取り外し時の前に

- インターフェイスボードの取り付け、取り外しの作業を行う前に、必ずプロジェクターの電源を切ってください。
 - 電源を切るときは、ご使用のプロジェクターの取扱説明書に記載の手順を必ずお守りください。

- インターフェースボードのコネクター部分には、直接手を触れないでください。
 - － 静電気によって部品が破壊されることがあります。
- 静電気破壊を防ぐため、事前に周辺の金属に触れるなど身体の帯電を除去してください。
- インターフェースボードの取り付け、取り外しの際は、けがをしないようご注意ください。
 - － プロジェクターの空きスロットの開口部や、インターフェースボードのブラケットなどの端部で、誤って手などをけがすることがあります。
- インターフェースボードをスロットに取り付けるときは、まっすぐにゆくと、コネクターに確実に差し込んでください。
 - － 正しく取り付けられていないと、動作しなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
- 本インターフェースボードは、〈SLOT 1〉または〈SLOT 2〉のいずれか一方のスロットに取り付けて使用してください。本インターフェースボードを〈SLOT 1〉と〈SLOT 2〉の両方に取り付けた場合は、〈SLOT 1〉に取り付けたボードのみ使用できます。

インターフェースボードの取り付けかた

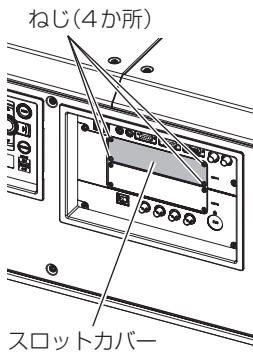


図 1

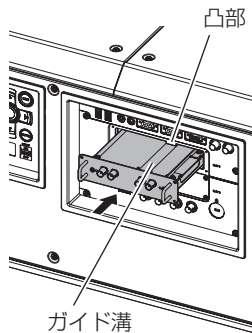


図 2

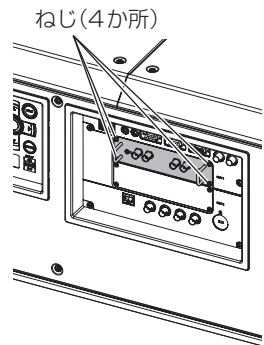


図 3

1) スロットカバーを取り外す (図 1)

- プロジェクターのスロットカバーを固定しているねじ（4 本）を、プラスドライバーで反時計方向に回して取り外してください。取り外したねじは、インターフェースボードの固定に使用します。
- 4 本目のねじを取り外す際は、スロットカバーが落下しないよう手を添えてください。
- 別のインターフェースボードから交換する場合は、“インターフェースボードの取り外しかた”（ 8 ページ）の手順に従ってインターフェースボードを取り外してください。

2) インターフェースボードをプロジェクターに取り付ける (図 2)

- インターフェースボードのガイド溝を、スロットの凸部の位置に合わせて挿入してください。ブラケット部を押して最後までしっかりと押し込んでください。

3) インターフェースボードを固定する (図 3)

- 手順 1) で取り外したねじ (4 本) で、締めつけて固定してください。

お願い

- 取り外したスロットカバーは、不要になったインターフェースボードを取り外したときに必要になります。将来また取り付けられるように保管しておいてください。

インターフェースボードの取り外しかた

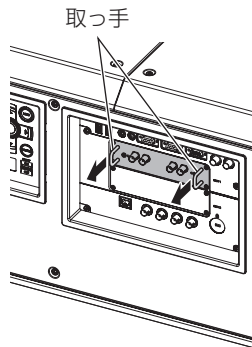


図 1

1) インターフェースボードを取り外す (図 1)

- インターフェースボードを固定しているねじ (4 本) を、プラスドライバーで反時計方向に回して取り外してください。取り外したねじは、スロットカバーの固定に使用します。
- インターフェースボードの取っ手を持ってゆっくり取り出してください。

2) スロットカバーを取り付ける

- 保管していたスロットカバーを空きスロットに取り付け、手順 1) で取り外したねじ (4 本) で、締めつけて固定してください。

お願い

- 空きスロットには、必ずスロットカバーを取り付けてください。
- 取り外したインターフェースボードは、静電気防止袋に入れて保管してください。

仕様

対応スロット		SLOT NX 仕様
接続端子 / 対応信号	入力	BNC 4 系統 (〈SDI 1 IN〉端子、〈SDI 2 IN/1 OUT〉端子、〈SDI 3 IN〉端子、 〈SDI 4 IN/3 OUT〉端子) シングルリンク SD-SDI 信号 SMPTE ST 259 規格準拠 シングルリンク HD-SDI 信号 SMPTE ST 292 規格準拠 シングルリンク 3G-SDI 信号 SMPTE ST 424、 425-2 規格準拠 シングルリンク 6G-SDI 信号 SMPTE ST 2081-1、 2081-10 規格準拠 〈SDI 1 IN〉端子と 〈SDI 3 IN〉端子のみ対応 シングルリンク 12G-SDI 信号 SMPTE ST 2082-1、 2082-10 規格準拠 〈SDI 1 IN〉端子と 〈SDI 3 IN〉端子のみ対応 デュアルリンク HD-SDI 信号 SMPTE ST 372 規格準拠 〈SDI 1 IN〉端子：Link A 信号 / 〈SDI 3 IN〉端子：Link B 信号 デュアルリンク 3G-SDI 信号 SMPTE ST 425-3 規格準拠 〈SDI 1 IN〉端子：Link 1 信号 / 〈SDI 3 IN〉端子：Link 2 信号 デュアルリンク 6G-SDI 信号 SMPTE ST 2081-11 規格準拠 〈SDI 1 IN〉端子：Link 1 信号 / 〈SDI 3 IN〉端子：Link 2 信号 クワッドリンク HD-SDI 信号 〈SDI 1 IN〉端子：Link 1 信号 / 〈SDI 2 IN/1 OUT〉端子：Link 2 信号 / 〈SDI 3 IN〉端子：Link 3 信号 / 〈SDI 4 IN/3 OUT〉端子：Link 4 信号 クワッドリンク 3G-SDI 信号 SMPTE ST 425-5 規格準拠 〈SDI 1 IN〉端子：Link 1 信号 / 〈SDI 2 IN/1 OUT〉端子：Link 2 信号 / 〈SDI 3 IN〉端子：Link 3 信号 / 〈SDI 4 IN/3 OUT〉端子：Link 4 信号
	出力	BNC 2 系統 (入力端子兼用) (〈SDI 2 IN/1 OUT〉端子、〈SDI 4 IN/3 OUT〉端子) 〈SDI 1 IN〉端子、〈SDI 3 IN〉端子へ入力された信号をアクティブスルー出力します。
外形寸法	横幅	151 mm
	高さ	38.5 mm
	奥行	142 mm
質量		400 g

お知らせ

- 「SLOT NX」は、4K映像の信号入力に対応した、当社独自のスロットの名称です。
- 実際に表示できる映像信号は、インターフェースボードを取り付けるプロジェクターによって異なります。詳しくは、お使いのプロジェクターの取扱説明書をご確認ください。
- プロジェクター本体がスタンバイ状態の場合、〈SDI 2 IN/1 OUT〉端子および〈SDI 4 IN/3 OUT〉端子から信号は出力されません。
- 接続ケーブルは、画像を正しく伝達するために 5C-FB 以上（5C-FB、7C-FB など）、Belden 1694A 以上、またはカナレ電気(株)製の L-5.5CUHD を使用してください。また、使用できる最大ケーブル長は次のとおりです。ただし、これら最大ケーブル長は目安であり、伝送距離を保証するものではありません。
 - SD-SDI 信号、HD-SDI 信号、3G-SDI 信号：150 m
 - 6G-SDI 信号：80 m（L-5.5CUHD を使用の場合は 110 m になります。）
 - 12G-SDI 信号時は、プロジェクター本体の [表示オプション] メニュー→ [SLOT IN] → [SDI モード] の設定によって異なります。
 - [SDI モード] を [入力] に設定時：50 m（L-5.5CUHD を使用の場合は 100 m になります。）
 - [SDI モード] を [出力] に設定時：50 m（L-5.5CUHD を使用の場合は 90 m になります。）
- プロジェクター本体の [表示オプション] メニュー→ [SLOT IN] → [SDI モード] を [出力] に設定して使用する場合、出力先として機器を接続していない端子には終端抵抗（75 Ω）を取り付けてください。
- 接続ケーブルの BNC コネクターは、使用する同軸ケーブルや信号の種類に対応したものを使用してください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

故障・修理・お取扱い

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（次ページに記載のパナソニック プロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社では、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

本製品を取り付けて使用しているプロジェクターの取扱説明書をご確認のうえ、直らないときは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	12G-SDI 信号ボード
品番	ET-MDN12G10
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック プロジェクターサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル



0120-872-601

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL <https://panasonic.biz/cns/projector/supportcenter/>

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差し上げるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えないようにおかけください。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号